

ジェネリック医薬品に関するアンケート

結果について

アンケートの背景・目的

本年2月、ジェネリック医薬品使用割合通知を千葉県内の医療機関および薬局に対して送付いたしました。その際、ジェネリック医薬品に関するアンケートを実施し、今般、その結果をまとめました。結果については、今後のジェネリック医薬品使用促進における事業運営の参考にさせていただきます。

調査対象

千葉県病院薬剤師会会員施設の医療機関および千葉県内保険薬局

実施期間

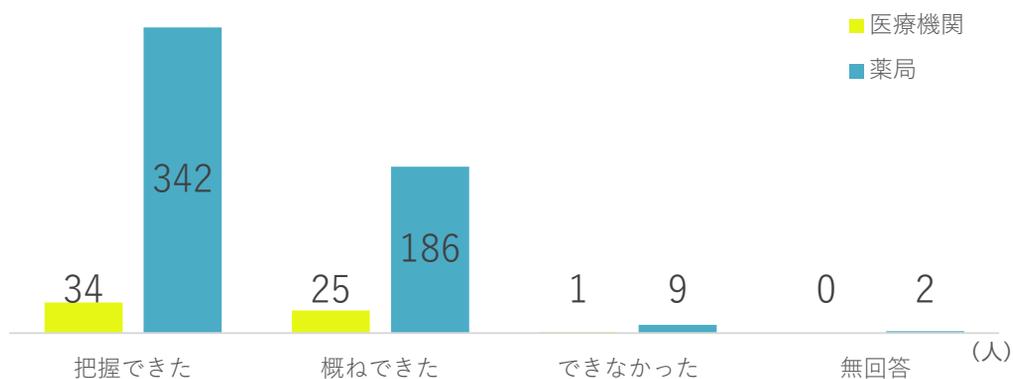
令和4年2月25日(金)～令和4年3月31日(木)

回答数

	医療機関	薬局
送付件数	238	2,266
回答数	60	539
回答率	25.2%	23.8%

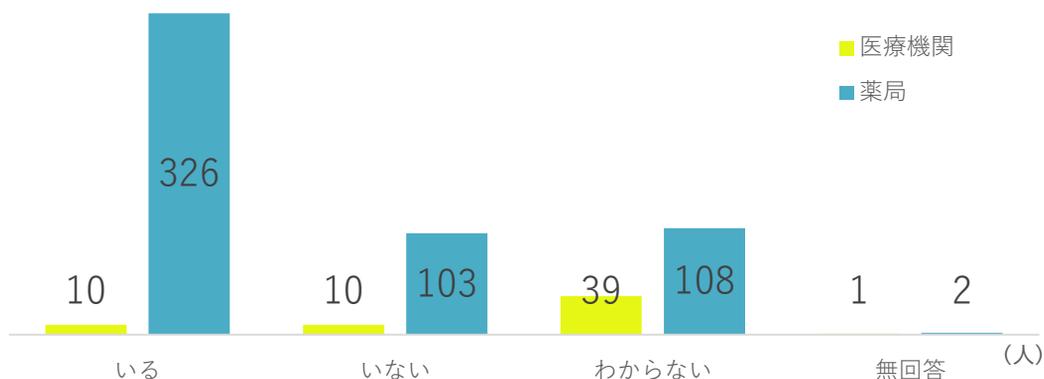
アンケート結果

1. 今回の通知を通して、自医療機関または自薬局の状況を把握することができましたか？

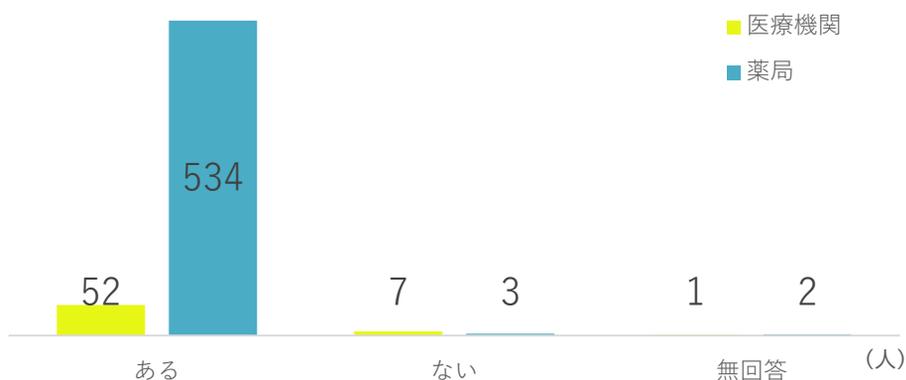


2. 協会けんぽでは、ジェネリック医薬品へ切り替えた場合の薬代の軽減額を記した通知を加入者あてに送付しています。

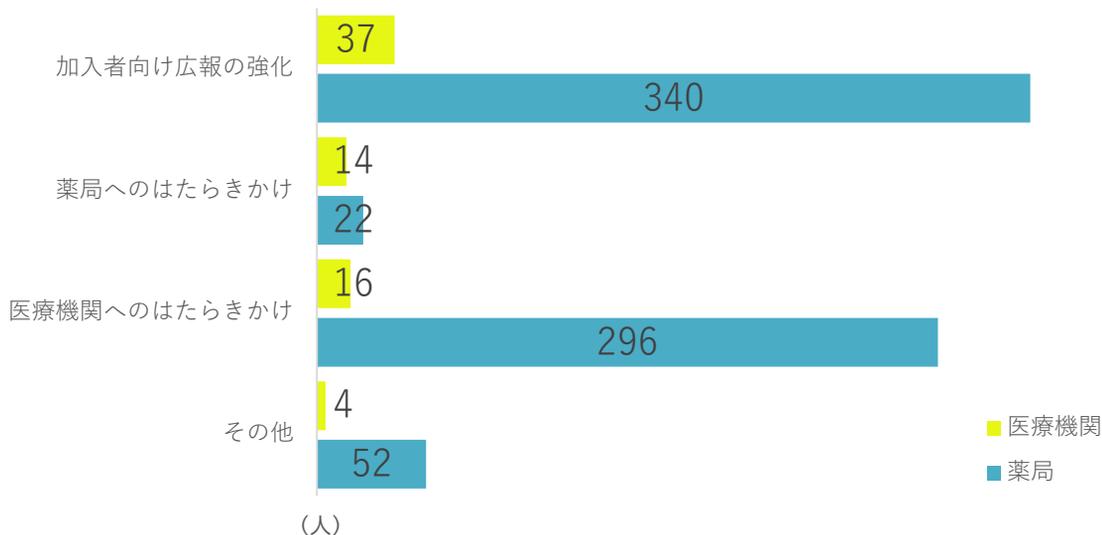
貴医療機関または貴薬局において、当該通知をきっかけにジェネリック医薬品への切り替えを申し出された患者様はいますか？



3. 今般のジェネリック医薬品の供給不足により、後発医薬品から先発医薬品に変更することはありましたか？



4. ジェネリック医薬品使用促進のために、保険者に求める取組は何ですか？



< その他の意見 >

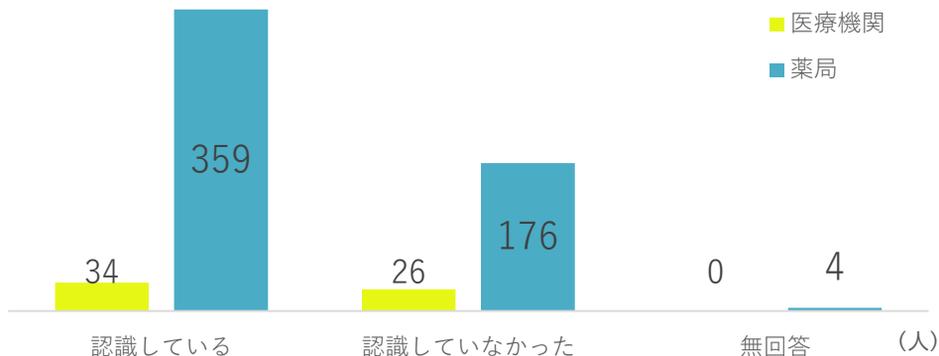
医療機関

- ・ 後発メーカー、流通卸改善のはたらきかけ。
- ・ ジェネリック医薬品製造メーカー向けに安定供給のはたらきかけをおこなってもらう。

薬局

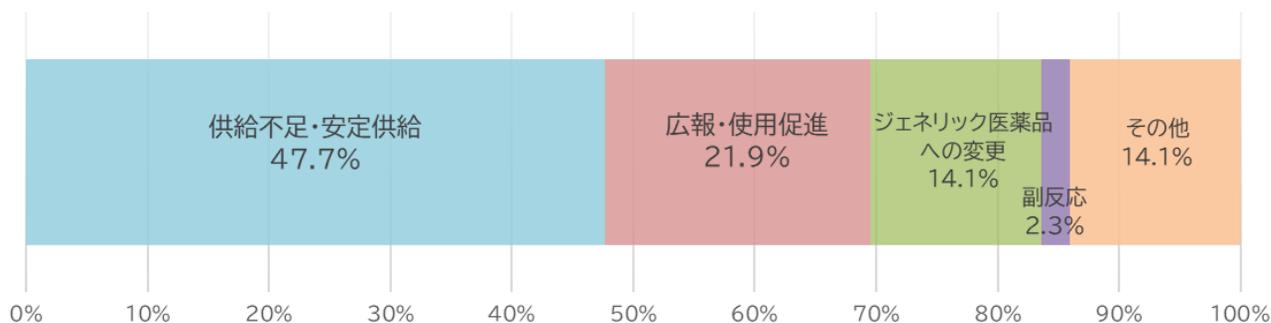
- ・ ジェネリック医薬品の供給不足の解消と品質の確保。
- ・ 先発医薬品を希望する場合の自己負担額の引き上げ。
- ・ 処方箋発行時に一般名処方として扱っていただくことや、変更不可のチェックを外していただくなど医師へはたらきかけてほしい。
- ・ 国へはたらきかけてほしい。
- ・ 製造メーカー及び問屋・流通へのはたらきかけ。
- ・ 公費扱いとなっている患者や乳幼児、ひとり親家庭などの場合、医療費の負担がないため、先発医薬品を希望されるケースが多い。その方へのはたらきかけをしてほしい。
- ・ ジェネリック医薬品の安全性や先発医薬品との同等性などを啓蒙してほしい。

5. 本通知は、令和2年度から今回送付しましたブルーの封筒を用いてお送りしておりますが、ご認識いただけていますでしょうか？



6. その他(ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください)

※ その他の意見等につきましては、分類分けをし、主な意見を記入しています。



< 供給不足・安定供給に関する 主な意見 >

- ジェネリック医薬品の供給不足の影響で、先発医薬品で対応することが多々ある。
- 供給不足の種類が多いため、可能な薬品でも切り替えに踏み切れない。
- 今般のジェネリック医薬品の出荷調整により、たくさんの患者さんがお薬の変更、薬代の変更で困っている。
- 安定して患者さんに医薬品を提供したいが、供給が追いつかないため、その都度説明が強いられる。また、薬の入荷時期がわからないので困っている。

< 広報・使用促進に関する 主な意見 >

- 加入者向けの広報と医療機関への働きかけをより進めてほしい。
- 供給不足の状況を加入者に周知してほしい。
- オーソライズドジェネリックの説明も併せてほしい。

< ジェネリック医薬品への変更に関する 主な意見 >

- 変更不可での処方が多く困っている。
- 小児の場合、自己負担がないため先発医薬品で処方されるとジェネリックに変えづらい。

< 副反応に関する 主な意見 >

- 張り薬は、貼り心地やかぶれの問題から、先発医薬品を希望する方が多い。
- 張り薬は特に先発医薬品で希望する人が多く、調剤数量も多いため、その点が解消されれば使用割合は増えると思う。

< その他 主な意見 >

- お知らせありがとうございます。ジェネリック医薬品の使用促進のために協力していく。
- 先発医薬品、ジェネリック医薬品、両方を在庫することにより、期限切れで破棄する医薬品が倍以上に増えている。管理も時間がかかり必要。
- 調剤状況のグラフがとても有用なので、データが1ヶ月分ではなく、3ヶ月、半年、1年などもう少し長い期間だとよりよいと思う。